

「母乳がよく飲めない」「離乳食が進まない」
「よくこるぶ」「下に置くとすぐ泣く」・・・

ほんとうに
「個性」で片付けて
いいの？

※気になる症状チェックは裏面に

育ちやすいからだ作りのための 赤ちゃん発達講座



マタニティ
サポートカフェ Vol.4

2017年

5月28日(日曜日)

霧島市農村環境改善センター
(鹿児島県霧島市隼人町内山田 1-14-10)

主催：マタニティサポートカフェ鹿児島
共催：霧島市 後援：鹿児島県助産師会

講師

まちむらじゅんこ
町村 純子 先生
(保健師)



第1部 公開講座【9:30 - 11:30】

お家で実践!育ちやすいからだ作りのための赤ちゃん発達講座

対象：一般の方(ママ・興味のある方)・医療・保育に関わる専門家など
会費：1,500円(資料・当日飲み物含む)
定員：100名程度

- ◎赤ちゃんの発達の順番について
- ◎実習～うたにあわせて赤ちゃんマッサージ
- ◎赤ちゃんの「なんとなく気になること」への質問タイム

持参するもの：バスタオル・フェイスタオル

※1歳以上のお子様は、できるだけ預けてご参加ください。



第2部 専門家向けセミナー【13:30 - 15:30】

正しい発達を見極める支援者向けスキルアップ講座

対象：助産師・保健師・保育士など、子どもの支援に関わる方
会費：6,500円(第1部参加費・資料・お弁当代など含む)
定員：70名程度

- ◎新生児からの発達の見方
- ◎口の発達と身体との関係
- ◎気になる症状の原因と対応方法
- ◎実習～離乳食の与え方
- ◎保健師が見る、子どもの育ちの現状と多職種連携について

持参するもの：マグカップ2個・カレー Spoon・ティースプーン

※専門家向け講座は第1部・第2部通してご参加いただけます。

※途中にランチ会をはさみます。

お申し込み方法

- ◆5月15日までに「専用フォーム」または「メール」「電話」でお申込みください。その後の振り込み確認にて受付いたします。
- ◆電話はすぐに取れないことがあります。その場合は留守電に連絡先などのメッセージを残してください。



▲PC・スマホ共用フォーム URL
<https://ws.formzu.net/fgen/S94183782/>

【お問い合わせ / 申し込み先】

詩音助産院

☎090-9791-8051 (大村)

✉msc.kagoshima@gmail.com



こんな症状で困った経験はありませんか？



お子さんの「なんとなく気になる」症状、改善できます。

健診や病院などでは「異常なし」と言われるけれど、「なんとなく気になる」ことがありますか？これは「育ちにくい」という子どもからのサインです。ほとんど原因があり、改善が可能です。

発達を線で観察し、予防的な視点で今の状態を改善すれば「自分で発達できる力」「生活していける力」をつけてあげられます。

気になる症状は成長とともに形を変えていきます。

お子さんからの、新生児から始まっているサインを見逃さないために。そして、「異常がある・なし」ではなく「今の症状の原因はどこにあるのか」「改善できる手段は何か」を考えていくために。いま、親が育てにくいと感じる様々なことに対して、どう向き合ったらよいのかを一緒に考えてみませんか？

講師

町村 純子 先生

保健師/㈱ゆう地域支援事業團 代表取締役/有限会社 まちむら 役員
身体調和支援 (BHS) 創始者

【著 書】

- 身体調和支援 ベビーマッサージ (東京法規出版)
- まちむら式 身体調和支援 うたに合わせてマッサージ DVD 付き (JUN BOOKS 出版)
- まちむら式 身体調和支援 うたに合わせてマッサージII DVD 付き (JUN BOOKS 出版)

【略 歴】

群馬県生まれ
群馬県立福祉大学保健婦学科卒業 (現 県立県民健康科学大学) 後は群馬県大間々町役場勤務し、地域の保健福祉業務にあたる。
平成15年10月 ゆう地域支援事業團 設立 (平成19年法人化)
平成18年 有限会社 まちむら 設立
指定介護訪問ステーションたなぼ・指定居宅介護支援事業所たなぼ・住居型有料老人ホームたなぼ・障害児童通所支援 児童デイサービスを開設。
また、地域保健関係専門職員研修・講演など人材育成、健康教育・相談などの委託事業、個別相談などに携わる。



身体調和支援 (BHS) のページ
<http://bhs-machimura.com/>

株式会社ゆう地域支援事業團の
ホームページ
<http://machimura.biz/>



マタニティサポートカフェとは

『お産を取り巻く状況が急激に変化する今だからこそ、職場や職種を超えた仲間を作りたい!』
フラットな立場で語り合い、それぞれのできる範囲を理解し、想いを一緒にできたら鹿児島のお産環境はもっと良くなるはず。

FB ページでの情報交換と、年2~4回程度、勉強会や異業種交流会を開催しています。